



# スキー協通信

No.448

発行

2022. 9. 1

## 東京都勤労者スキー協議会

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22山柿ビル3F 03-5842-1932

ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：[info@tokyoskikyo.org](mailto:info@tokyoskikyo.org)

ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)  
00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)

発行責任者

出崎福男

## スキークラブの夏・山歩きを楽しむ



▲中央のピークがオキの耳、左がトマの耳



### シーハイル S.C.は谷川岳の急登に挑む

2022.8.6-7 クラブの有志4人で谷川岳を登ってきた。コースは日本三大急登の一つ、標高差1,160mの西黒尾根ルート。尾根沿いの鎖場が点在する岩また岩の高度感溢れる手ごわい登りが続いた。双耳峰（オキの耳とトマの耳）のピークを踏み、雲海の上に広がる360度の絶景を堪能することができた。（会報から）。



### S.C.こなゆきは涼やかな三頭山を歩く

2022.8.21 クラブの月例ハイキングに7名が参加。奥多摩の三頭山(標高1,531m)を歩いた。落差33mの三頭大滝を経て、涼やかな沢沿いのルートで三頭山の西峰、中央峰、東峰を巡り、鞆口峠から下山。登山口の都民の森森林館の近くで、レンゲショウマの可憐な花に出会うことができた。



レンゲショウマ



▲三頭大滝の吊橋にて

## 目次

リレーエッセイ「雪紋」	2頁
第55回定期総会 発言集/会議の報告	3-6頁
山スキー委員会より	7頁
各部局から/9・10月のカレンダー	8頁

# ウクライナに平和を

東京スキー協 理事長 出崎 福男

リレーエッセイ



## 今、日本に求められるのは、国連憲章をまもることと日本国憲法第9条を活用すること

ロシアによるウクライナ侵略が開始されて半年が経とうとしている。ロシア軍による市街地の破壊や一般市民への人権侵害など、戦争が引き起こす惨禍が広がっている。

日本国内では、ウクライナでの戦争を引き合いに、「日本が攻められたらどうする」という議論も起き、私の周辺でも「戦争になったら、自分に行く」などの声も聞かれる。

いま日本で大切なのは、「攻められたら・・・」ではなく、「戦争が起きないために何をするか」を考え行動することだと思う。国連憲章と日本国憲法は、ともに第二次世界大戦への痛切な反省から生み出されたものであり、「戦争が起きないために」の原点であると私は考える。

国連憲章は1945年6月26日に調印された。その前文では、まず「二度も言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救（うこと）」を決意したと述べている。そして第一条では国際連合の目的として「国際の平和及び安全を維持すること。」を第一項の最初に掲げている。その手段として「有効な集団的措置」と「平和的手段」によることを同時に述べている。国連の安全保障理事会の常任理事国が拒否権を持つことなどにより、一定の制約はありつつ、前文や第一条に掲げられた内容は価値あるものだ。対立軸を作ることで、この価値にまず寄り添うべきと思う。

日本国憲法は、ポツダム宣言を背景としているが、同時に日本国民の戦争に対する反省がこめられている。憲法前文が「政府の行為によってふたたび戦争の惨禍が起ることのないやうに決意」と述べていることはその表れだと思う。また前文では「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理

想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。」と述べ、新生日本の安全保障のよりどころを「平和を愛する諸国民の公正と信義」においた。これは国際主義の立場であり、国連憲章の精神と響き合うと思う。

憲法第九条は、第二次世界大戦での侵略戦争に対する反省をふまえ、ポツダム宣言にもとづく軍国主義との決別および非軍事の平和国家の実現という目的を、徹底した形で実現するものである。第九条は、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と定めている。そしてこの目的を達成するため、「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない」と徹底している。これは国際社会にむけての宣言である。これだけ徹底した内容を宣言し国際的に約束した背景には、国連憲章調印以降に起きた出来事—広島・長崎での原爆の惨禍がある。国連憲章が「言語に絶する悲哀」と述べたことを超える惨禍であり、日本国憲法にはこの惨禍が刻まれている。

この憲法を持つ日本には、自らの安全と生存を保持することと国際平和を求めることを同時に叶えようと主張することができる。新日本スポーツ連盟が3月1日に発表した「ロシアのウクライナへの武力侵攻について声明文」では、「核兵器による悲惨さを体験した国のスポーツ団体として、平和憲法を持つ国のスポーツ団体として、ロシア軍の即時撤退を求めます。」と述べている。国連憲章と日本国憲法、価値あるものを今こそ活用しようではないか。



# 第55回定期総会 (2022年6月19日) 発言集

※会長の挨拶、来賓挨拶、メッセージは通信 447 号 (8月号) に掲載しています

田畑 健 こなゆき

50年史の予算が5万円計上されていますが、どのような形態のものをいつまでにどういう風にするのか、進行状況、予定の概略を教えてください。私も古い写真などご用意できるかと思いません。

上記の回答 出崎福男

いろいろなご協力を頂いて、30年史の概略、この間20年の活動状況、および山スキーのこの20年の状況と大きな原稿が3つあります。20年の部分の書き直しや、当時の役員についての確認をしている段階。ここ数年のスキー協通信のクラブ紹介をもとにクラブの情報を載せる予定をしていたが、5年前のものになり、改めてお願いしなければならぬ。遅くとも年内の完成ということで進めたい。ページ数は60ページ程度になります。



福島 明 教育技術局



理事長の報告に補足します。ひとつめは、受付でチラシを配布しましたがスキーセミナー2022の件です。コロナ禍で開催を2年止めていたが、今度の9月10日に再開します。

全体の基調は「やっぱりスキーは楽しい」ということ。滋賀県の全国デモで技術部長の野瀬孝さんにお話していただきます。会場は120名入りますが、定員80名で切りたいと思います。2つめは、クラブの窓口になっているかたに、公認資格者登録のお願いのメールを送りましたので、8月20日締め切りまでに遅れないように登録をお願いします。最後に、全国の常任理事の立場からお話します。「スキーを安全に」、「リーダーズテキスト」の改訂を何年かにわたり検討してきて、

この度完成しました。1000円にいかない程度の値段です。北海道で開催する全国サマーセミナーで配布できるように計画しています。

田畑 健 こなゆき

まず、「スポーツは平和とともに」ということについて。今度の2月24日にロシアが強行したウクライナ侵略戦争はとんでもないこと。厳重に抗議することをスポーツ連盟もしています。こなゆきでも運営委員会でロシア大使館に抗議文を送ることを決定し、3月24日に「ウクライナ侵略」と「核兵器による脅迫」に抗議します、という文章をロシア大使館にメールで送りました。例えば2003年の3月、アメリカがイギリスなどを巻き込んでイラク戦争をしたときには、こなゆきとしては即時停戦、日本政府は戦争に協力するな、という抗議文をアメリカとイギリスの大使館、小泉首相に送った歴史があります。3月のテクニカルフェスタで、高橋勝美実行委員長が開催挨拶の冒頭で抗議すると言ったことが印象に残りました。もうひとつは環境の問題。温暖化を防がないと日本では北海道でしかスキーができなくなると言われている。全国の山スキー部で、7月16日三連休の冒頭に、POW JAPANの事務局長の脊戸柳さんを講師に迎えてZOOMで講演会を開催します。POWというのはアメリカのスノーボーダーが始めた団体ですけど、今は12か国で活動しているそうです。日本では白馬村を中心に活動しているそうです。ぜひ聞いていただきたい。



矢吹 健 銀嶺

競技スキー委員会を代表して活動について。先シーズンは4つの行事、1つの協力行事を行いました。先々シーズンはコロナの影響で2行事し



かができなかつたが、このシーズンはすべての計画を実施できました。初めての参加者も増えて、競技を本格的に練習したい人にも概ね好評だったと思います。今シーズンは舞子の練習会の日程を第4週目から第3週目に変更したいと考えています。競技スキー委員会なので、できるだけポールに入る機会を増やしたい。4月第1週の志賀高原のポールトレーニングも好評。ゴールデンウィークの前半にもなんとか開催したい。ぜひ興味のあるかたの多くの参加を期待しています。

上林幹雄 エーデルヴァイス



今年度は会員が増えなかつたが、減らさない努力もあるのではないかと考えています。そこに頭を使ってもいいのかなど。クラブに88歳のかたがいますが、高齢者はがんばってスキーをしていたのにケガをきっかけで疎遠になってしまうこともあります。ケガをしないためにどうするかといったことに、真正面から向きあっていきたい。

今年度は会員が増えなかつたが、減らさない努力もあるのではないかと考えています。そこに頭を使ってもいいのかなど。クラブに88歳のかたがいますが、高齢者はがんばってスキーをしていたのにケガをきっかけで疎遠になってしまうこともあります。ケガをしないためにどうするかといったことに、真正面から向きあっていきたい。

兼平 薫 こなゆき

5名の会員を増やした件の補足をします。2名が東京スキー協の山スキー教室でこなゆきを知っていたので、入会しました。また、会員の奥さんが1名と、会報読者から会員になったかたが1名。もう1名は兵庫スキー協ですすでに活躍されていたかたが東京に転居し、こなゆきに入会しました。退会する方も3名いるので、減らさないこともとても大切。こなゆきは基礎スキーばかりでなく、山スキー、ネイチャースキー、ハイキング、ウォーキング、食事会などいろいろやっています。幅広く受け入れられるように、いろいろな活動を行っています。



市川正幸 どさんこ・ウィークデー

クラブの実態について。どさんこスキークラブとウィークデーを統廃合し、正会員とダブル会員、あとは家族会員と会友で全体では40数名の会

員という構成です。昨年と一昨年は会員を減らし16人にまで減りましたが、今期は21人と増やすことができました。ニュースを届けながらクラブの状況を伝えて、いつでも戻って来てもらえるようにしています。コロナ禍でなかなか思うようにいかない部分もありましたが、ダブル会員を増やしたり、正会員として戻って来てもらったり、友達を連れてくるなど、正会員が減ったとしても、新たな参加者を増やすことが大事。多くの人で行事を行うことがスキーは楽しい、というイメージを伝えられます。参考にしてもらえたらと思います。

奥屋和俊 雪けむり



今期、2名が初級指導員に合格しました。若いころからスキーをしていて、まともに滑れるが、カービングターンで2軸になってかなり苦労して合格まで2年とか4年か

かった人がいる。私の中で、昔の1軸の抜重の癖がどうしても残っていて、それを直すために、ピボットターンや、ワイドに意識的に開いてピボットターンを練習しました。抜重ではなくて、2軸が大事だと思います。そうやって指導した結果、合格祝いをすることができました。合格者から、自分が苦労したことを指導員として伝えていきたいという話もありました。

高橋勝美 スラローム



54期から教育技術局長をやっています。局長なりの思いをお話したいと思います。教育技術局の下に、技術部会があって、55期も各クラブから部員を募集したい。東京ス

キー協会のスキー技術の向上のサポートをすることを主な目的としています。指導員の資格を取った人には、クラブのリーダーとして、運営やクラブの技術的なことをぜひやってほしいと強く思っています。教本がいくつかありますが、スキー協には指導員テキストというのはいないんです。リーダーズテキストなんです。指導員がリー

ダーとして力を発揮してもらえるように、とりわけ技術の部分で発揮してもらいたい。技術部会のなかで、教程の理解や指導に当たってどういうところを注意したらいいとか、見せられる技術を得るために何をやったらいいか、技術部では喧々諤々、垣根なしで議論をしています。そういうことをクラブに持ち帰り、クラブで共有化してほしいのです。技術部会にぜひ各クラブから推薦していただきたい。部会は1年に2回。メインは12月と3月の雪上部会、Webを使った準備段階の会議1、2回程程度なので、これらに参加する前提で技術部員になっていただきたい。ぜひ選出して頂いて、スキーマの技術、楽しさをバックアップできるような指導員体制をつくってもらえたらというのが願いです。

藤井一雄 エーデルヴァイス

クラブの会員拡大について。自分は会員ではあったが20年ほどスキーに行けなかった時期がありました。子どもが独立してからやっとスキーが再開できました。私



みたいな人が周りにいないか、探したら何人かいたので、その人たちにクラブの情報を伝えて、また参加してくれた人が3人いました。この人たちを今後クラブに迎えたいと思っています。

北川勝治 みなとしゅぷうる

みなとしゅぷうるの状況です。肝心の小川くんが青森に行ってしまう、現在5名、実働からいうと4名。そのうちの3名が指導員でクラブの外でがんばっています。同じ地域では江東区のとんとおむしがコロナ下でも2名会員を増やしました。同じ地域でありながら対照的だが、私たちも二次会員としてとんとおむし発展に協力して、役割を果たしているんじゃないかと思っています。江東区のかなかでとんとおむしを盛り上げて、うまくいけば兄弟クラブとして活動できると、個人的に感じています。自分のクラブ



もありますが、地域の中に大きな力を持つてんとおむしの発展のためにがんばっていきたい。

木南もと子 てんとおむし

先ほどみなとしゅぷうるの北川さんがとんとおむしの活動を説明してくれましたが、ありがとうございます。ほぼその通りです。そのなかで、ひとつだけ頭を悩ませています。バス行事を2回していますが、バス代が高くなったのと、コロナで宿のほうで人数制限があって、マイナスがけっこうあります。今年は会費を少し値上げして実行してみようと総会で決定したのですが、少しマイナスになりそうです。バス行事をされているクラブはどうやっていらっしゃるのでしょうか。



兼平 薫 こなゆき

コロナ前はバスツアーを行っていましたが、コロナ禍でできなくなりました。来期は3年ぶりの実施になるのでお答えすることができないが、コロナの影響だけでなく、燃料代の高騰など逆風が強まっているので工夫が必要と考えています。答えにならずすみません。

吉田安信 スノーモンスター

昨シーズン、その前のシーズンはコロナの影響で中止。今年は1月2月3月までの3つの山スキー教室を実施しました。今シーズンに向けて、教室や講座を行います。スキー協内部だけの取り組みだと広がっていきません。外に目を向けるといろんなところで山スキーをやっている人を見受けられますが、組織だっていない。安全な山スキーを遂行するには、組織して安全対策、気象、地形、雪崩対策などを系統的にやらないといけない。そこがゲレンデとは違う点。山スキーの場合は命に関わってくるので、スキー協の山スキー関係者は「安全に楽しく」をモットーに、一人ではなく仲間で行くということが続けてきています。ところが最近はクラブに入るよりもネットで探してちょこちょこ行く





いう風潮があります。手軽、気軽ですが、安全面から見たらどうなのか。スキー協の山スキーに対する役割をこれからも続けていいこうと思うので、みなさんもぜひともこういった教室に関心を持っていただきたい。気候変動などで雪が少なくなってきたいて、みなさんは実感していると思います。スキー・スノーボードをする人以外はあまり雪が少ないことを問題としてとらえていません。実際は水不足、田畑の病害虫が死なないので農作物に影響が出てくる、雪が少なくなり小鹿が死なくなるとシカが増え食害が出ていたり、温暖化はあらゆる面で人間生活、自然界に影響しています。スキーヤーの立場から、なぜ雪がないのか、なんとかしないといけないのではないかと、学習して行動に移していただきたい。我々山スキー委員会はこれらのことに根付きながらやっているの、関心と参加もよろしくお願いします。

鈴木 綾 チームスポーツ板橋

今回初めて参加させていただきました。コロナ禍の活動に参加させていただいて、こういう状況で非常にがんばっていることに感心しています。クラブの紹介ですが、今7名ほどで活動していて、どちらかという職業が近いメンバーが集まっている。比較的年間を通じて他の運動もしたりして集まっている。飲み会と称して、



ミーティングをやったり日々顔を合わせている。活動自体は仲間さんを中心に競技関係に参加している。今回競技だけではなく、いろいろな話を聞いて刺激を受けている。我々も車を運転する人が減ってきて、乗り合いや現地集合の形でやっているが、活動が限られないように、こういう業界みたいなどころを通じてうまくスキーの機会を増やしていきたいと思っている。

市川正幸 どさんこ・ウィークデー

クラブでは車を運転するが何人がいたが、運転がきつくなってきた。バスを借りることはできないが、1行事で車2台のレンタカーを借りて、車と運転者を少なくして交通費を安くできる。少しでも費用を安くするために、リフト代を行事参加費に組み入れておいて、事前に安いリフト券をチャーターする。ネットで割引のリフト券を購入しておく。お勧めしたいのは、群馬方面の4つのスキー場を滑れるリフト券があって、すごく安い。尾瀬岩鞍、丸沼、川場などを利用している。リフト券は8000円以内で3日間滑ることができる。参考にしてみてください。ネットで安く購入できるのは、メルカリ、ヤフオク、ペイペイ、楽天など。事前に役員会などで参加人数を出して、購入枚数を出せば安く利用できると思います。



## 会議の報告

第55期 第2回常任理事会 2022.8.2 (火)

11名中10名出席

<主な内容>

1. 会員登録・公認資格者登録・登録料及び会費納入状況の確認
2. 平和駅伝&BBQの開催について  
現時点では、開催できる施設がないので、本日付けて「開催できない」と判断。

3. スキーセミナーの参加申込状況の確認と当日の役割分担の確認
4. 各種実行委員会の立ち上げ状況の確認
5. 「スキーリーダーテキスト・スキーを安全に」冊子の頒布についての確認
6. 「会員拡大取り組み経験交流会」についての意見交流
  - ・他県の経験を聞くことも意義がある。
  - ・9月の組織局会議で詳細検討し決めていく。

頂からの滑走をめざして…

# “山スキーの集い”

3年ぶりに開催します

山スキーの集いは、2019年に開催して以来パンデミックの中、2020年、21年と開催を取止めてきましたが、本年、下記により開催することとしました。

シーズンインに先立ち、山スキー教室の予定、技術、用具、安全等についての企画をしました。ぜひお集まりください。山スキーの世界へ一歩、クラブの皆さんと誘い合わせてご参加ください。



(鳥海山山スキー教室 2014年5月)

**日時：2022.11.11 (金曜日)**  
P.M.7:00～9:15 (開場 6:30)

**会場：としま区民センター (503号室)**  
JR池袋駅・東口 徒歩約7分

山スキーに必要な基礎知識を学ぶ講座を開催しています。今年も下記により開催します。山スキーをこれから始める人から経験者まで、どなたでも参加できます。

どうしたら安全な山スキーが楽しめるのか、みんなで勉強し、事故を・遭難を未然に防ぎましょう。

## 「山スキー基礎講座」(兼 関東山スキーリーダー養成講座)

(指導員の受講は、理論研修となります)

日時 2022年11月27日(日曜日)

午前10時～午後4時45分

会場 北トピア 803号室(王子駅前)

内容 ①山スキーリーダー論、②読図、③気象・積雪

### 《山スキーの集い プログラム》

◎スキー協オリジナルビデオ等の紹介

◎おはなし

東京スキー協の目指す山スキー

2022-23 最新山スキー用具の紹介

東京スキー協 山スキー教室の案内・説明

各種山スキープラン

山スキー関係クラブの紹介

その他

お願い：参加にあたりましてスキー協協力費として500円をお願いします。



乗鞍高原山スキー教室  
(2019年3月)

## 2023年「山スキー教室」開催案内(予定)

開催月日	場所	案内
1/21(土)～22(日)	かぐら峰周辺 新潟	基礎、シール着脱・登高練習。スキー場から稜線へ
2/11(土)～12(日)	安達太良山 福島	粉雪の高原で、シール着脱・登高、安達太良山山頂へ
3/11(土)～12(日)	乗鞍岳周辺 長野	スキー場トップから登高で肩の小屋へ。往路を滑降
5/3(水)～5(金)	鳥海山 秋田	山頂から、秀麗な山容を滑走。日本海目指しての滑降も
5/3(水)～6(土)	八甲田山 青森	広大な山城。昔からの山スキーの地
5/26(金)～27(日)	立山・剣沢 富山	雄大な大滑降。宿では温泉につかり

## 組織局より

＜会員登録の状況＞

8月22日現在、会員名簿提出が29クラブ中22クラブ340名（内1クラブ11名分の会費が未納）で、名簿未提出で会費のみ納入が4クラブ31名となっています。

## 総務局より

＜公認資格者登録料と会費の入金状況＞

公認資格者登録、及び登録料の振込み、また会員登録及び会費納入の締め切りが8月20日に設定されており、総務局では登録料と会費の入金チェックを担当しました。ただ、登録と切り離しては考えられないため、組織局、教育技術局と情報の共有を図り、メールのやり取りによってひとつの管理表を各部署の責任者が共通で埋めていくというやり方を取っていきました。総務局はゆうちょのオンラインで毎日の入金を見る事ができますので、入金金額と内訳を見て、登録数と違いがないかを確認しながら表に入力をしていきました。

8月23日現在の入金状況は3クラブが登録料・会費とも未入金、振込みが8月22日になったクラブが2クラブありました。

## 教育技術局より

### 公認資格者登録、8月20日現在の状況

6/17に各クラブの窓口の方に一斉に依頼した公認資格者登録ですが、①年次登録名簿の提出、②年次登録料の納入、③会費の納入の3点セットが8/20の締め切りまでに完了したのは22/29クラブでした。残念ながら7クラブが期日までに完了できなかったこととなります。以下、その内訳です。

①～③すべてがNG：2クラブ

①と②がNG：1クラブ

②と③がNG：2クラブ

②がNG：1クラブ

③がNG：1クラブ

クラブ公認資格者の登録は最低限の「義務」であり、期日までに手続きを終えていただきますよう引き続きよろしくお願ひします。

## 9・10月のカレンダー

9月	行事名	10月	行事名
3-4(土日)	全国山スキー部会	5(水)	常任理事会
7(水)	常任理事会	13(水)	広報局会議
10(土)	スキーセミナー2022	20(木)	理事会③
14(水)	広報局会議	22(土)	指導員ミーティング
25(日)	全国競技部会	23(日)	関越B初・中級指導員養成理論
28(水)	教育技術局会議		

### 編集後記 エビノシッポ

「適度の身体を動かした方が疲れない。身体を動かさないとかえって疲れる」と最近感じるようになりました。猛暑ですし、コロナ禍ですので対策を取りながらウォーキングや、筋トレなどやってみましょう。先日、みつまたのプラスノーで滑ってきましたが、いきなりは身体が思うように動かないものですね。来るシーズンに備え今のうちから備えようと思います。（芦村）